

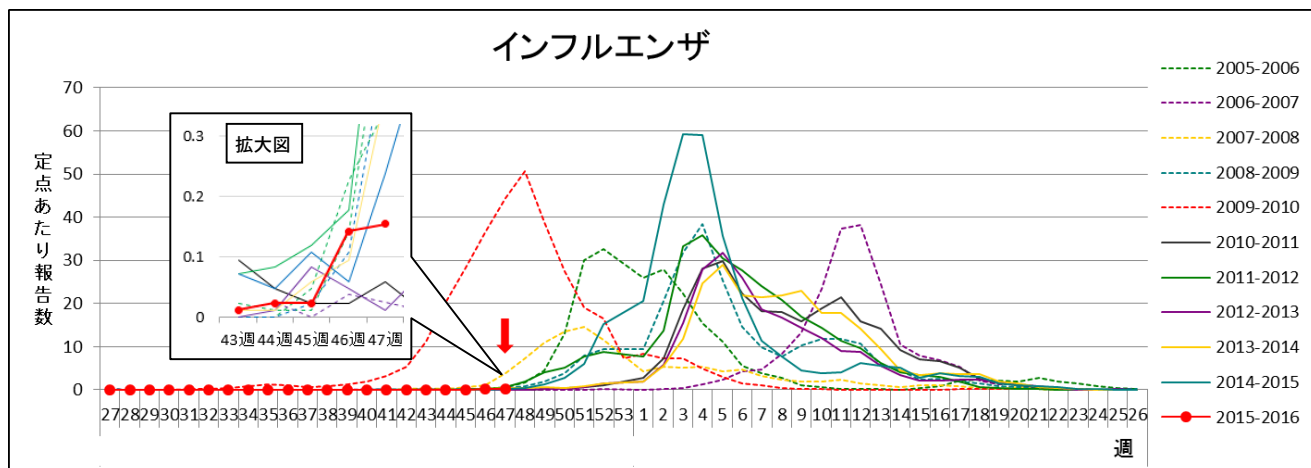
## インフルエンザ週報 2015年 第47週 (11月16日～11月22日)

## ➤ 岡山県の流行状況

- インフルエンザは、県全体で13名の発生がありました(84定点医療機関報告)。
- インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業はありませんでした。
- インフルエンザによる入院患者1名の報告がありました。

## 【第48週 速報】

- インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が3施設でありました(11月24日)。



インフルエンザは、倉敷市11名、備前地域2名の報告があり、県全体では13名(定点あたり0.14→0.15)の発生となりました(84定点医療機関報告)。県内の患者発生はまだ散発的ですが、倉敷市(0.13→0.25→0.69)では、定点あたり報告数が2週連続で増加しています。

第46週全国集計によると、全国の定点あたり報告数は0.14人であり、発生はまだ散発的です。都道府県別では、沖縄県(0.91人)、静岡県(0.39人)、宮城県(0.29人)の順で定点あたり報告数が多くなっています。

インフルエンザの本格的な流行は、通常12月に入ってからといわれますが、第48週、すでに岡山市・備前地域の小学校・高等学校で臨時休業も報告されています。外出後は手洗いを励行し、感染予防を心がけましょう。

[IDWR 速報データ 2015年第46週 \(国立感染症研究所\)](#)

[インフルエンザ Q&A \(厚生労働省\)](#)

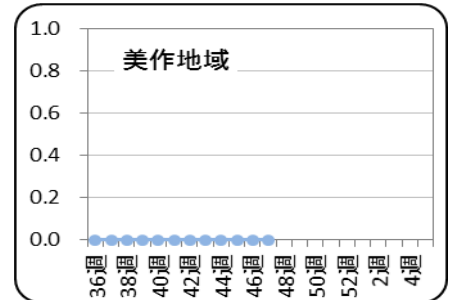
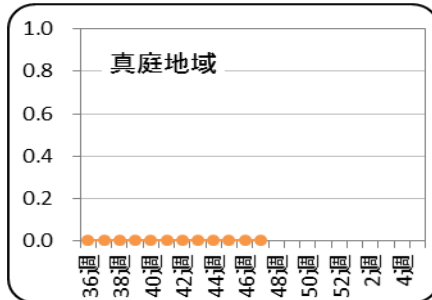
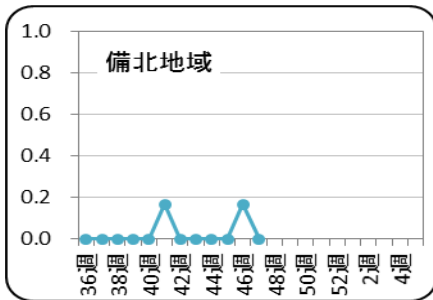
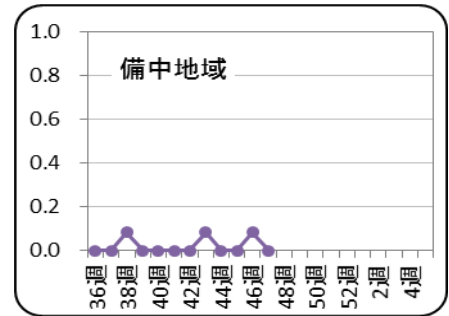
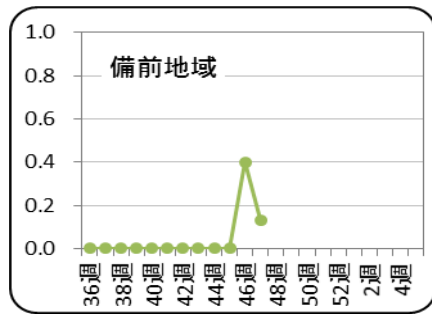
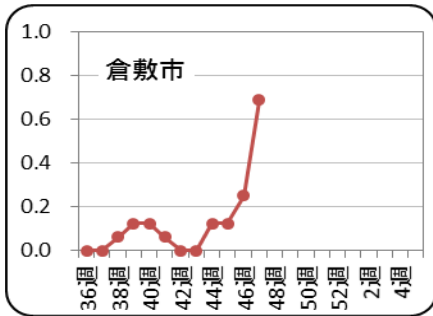
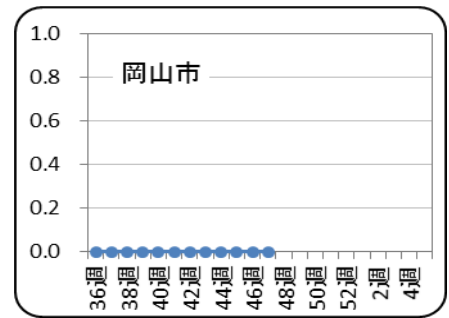
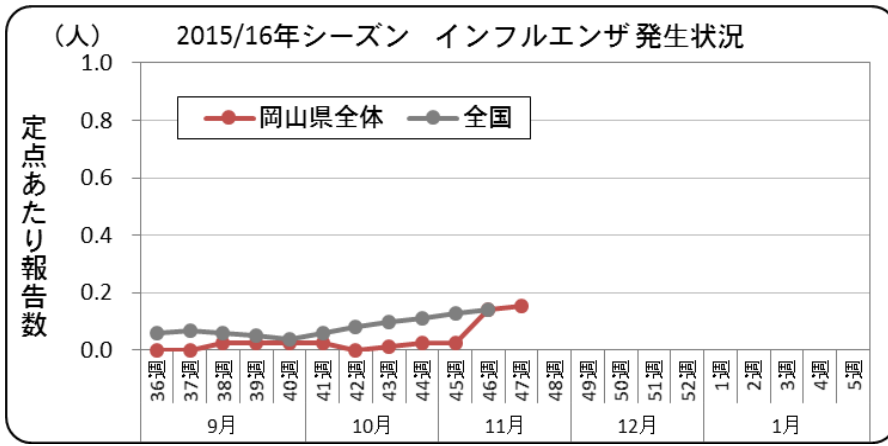
[平成27年度 今冬のインフルエンザ総合対策について\(厚生労働省\)](#)

## 1. 地域別発生状況

前週からの推移(単位:人)

地域名	発生状況		推移	地域名	発生状況		推移
岡山県全体	患者数	13	➡	備 中	患者数	0	⬇
	定点あたり	0.15			定点あたり	0.00	
岡山市	患者数	—	➡	備 北	患者数	0	⬇
	定点あたり	—			定点あたり	0.00	
倉敷市	患者数	11	⬆	真 庭	患者数	—	➡
	定点あたり	0.69			定点あたり	—	
備 前	患者数	2	⬇	美 作	患者数	—	➡
	定点あたり	0.13			定点あたり	—	

【記号の説明】 前週からの推移  
 ⬇ : 2倍以上の減少    ⬇ : 1.1～2倍未満の減少    ➡ : 1.1未満の増減  
 ⬆ : 1.1～2倍未満の増加    ⬆ : 2倍以上の増加



2. インフルエンザ様疾患による学校等の臨時休業施設数

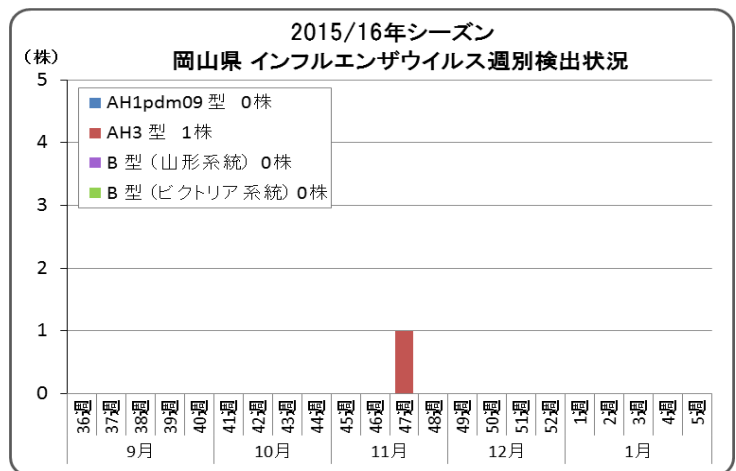
インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業はありませんでした。

3. インフルエンザウイルス検出状況

第47週、環境保健センターで判明したインフルエンザウイルスは、AH3型が1株でした。

今シーズン、全国で検出されたインフルエンザウイルスは、AH3型45株、AH1pdm09型27株、B型18株となっています。(2015年11月20日現在)

[インフルエンザウイルス分離・検出速報](#)  
(国立感染症研究所)



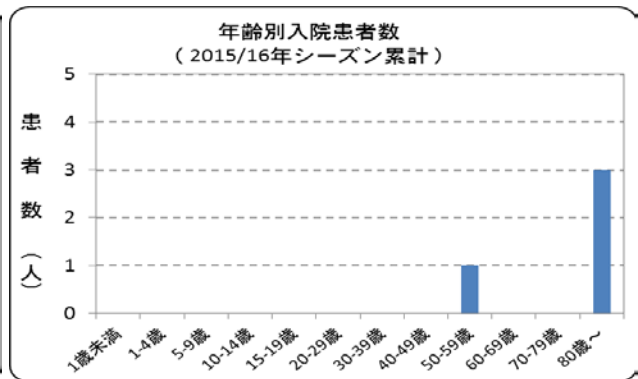
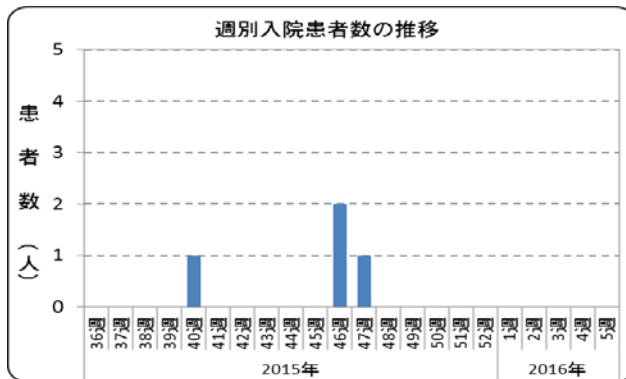
【第47週 判明分】

ウイルス名	検体採取週	検体採取日	地域	年齢	性別
インフルエンザウイルスAH3型	2015年第47週(11/16~11/22)	2015/11/17	備前	中学生	男

4. インフルエンザによる入院患者報告数（県内基幹定点 5 医療機関による報告）

インフルエンザによる入院患者は、1 名（80 歳以上）の報告がありました。

幼児や高齢者、慢性疾患・代謝疾患をもつ人、免疫機能が低下している人などでは重症化することがありますので注意が必要です。幼児ではまれに脳炎を起こすことがあります。水分をとった後すぐ吐いてしまう、元気がない、意識がはっきりせずとうとうとしている、けいれんを起こす、このような症状がみられるときは、すぐに医療機関に相談しましょう。



【2015 年 8 月 31 日以降に入院した患者の累計数】

年齢	1歳未満	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計*
入院患者数									1			3	4
ICU 入室									1				1
人工呼吸器の利用													
頭部 CT 検査 (予定含)													
頭部 MRI 検査 (予定含)													
脳波検査 (予定含)													
いずれにも該当せず												3	3

\* 重複あり

◆◆ インフルエンザの予防接種は、お早めに！ ◆◆

インフルエンザのワクチンによる効果が出現するまで、2 週間程度かかります。  
本格的な流行がはじまる 12 月中旬までに、予防接種を済ませることをお勧めします。

定期予防接種の対象者は積極的に予防接種を受けましょう。定期予防接種の対象者以外の方は、任意での予防接種を受けることをご検討ください。

- ・ 予防接種は発症の可能性を減らし、もし発症しても重い症状になるのを防ぎます。
- ・ 年により、流行するウイルスの型が変わるため、毎年接種する必要があります。

定期予防接種対象者

- \* 65 歳以上の方
- \* 60～64 歳で心臓、腎臓または呼吸器の機能に障害があり、身の回りの生活が極度に制限される方、ヒト免疫不全ウイルスにより免疫機能に障害があり、日常生活が非常に困難な方

◎ワクチンの在庫および予防接種の予約等については、各医療機関にお問い合わせください。

